

臨床研究情報公開文書 (東海中央病院で実施する医学系研究)

2026年 5月 29日作成

研究課題名	Aperta NSE Reduces Restenosis and Extends PTA Interval in Juxta-Anastomotic Stenosis : A Within-Patient Retrospective Study
研究の対象・期間	当院で血液透析を受けていたすべての患者の内、シャント PTAのために AVF 評価を受け、定期的な PTA を施行された患者 研究期間:2021年9月24日~2025年12月31日
研究の目的	本研究では、シャントが狭くなりやすい患者さんについて、治療に使用するバルーンを従来のもの(NSE)から新しいタイプのもの(Aperta)に変更した場合に、シャントの状態がどのように変化するかを調べます。超音波検査で分かる血流の状態や血管の硬さの指標、さらに血液検査の結果を比較し、Aperta がシャントの働きを保つうえで役立つかどうかを過去の診療録のデータを用いて評価することを目的としています。
利用・提供する情報の項目	採血データ : Hb、Alb、Ca、P、TCH、TG、HDL、LDL、PTH-intact、CRP 透析データ : 透析種類、アクセス種類 超音波検査データ : Qa、RI、前後径、狭窄部径、検査間隔 バルーンデータ
利用・提供方法	データの取得:診療録から対象データを抽出し、匿名化した上で担当者が集計します。 保管方法:東海中央病院 本館3階 医療機器管理センター事務室の施錠可能な保管庫に保管する。 他者提供者の有無:本研究では他機関へのデータ提供は行いません。 終了後の取り扱い:情報は10年間保管後、紙資料はシュレッダーで裁断処分し、電磁的記録は消去ソフトにより消去する。
利用する研究機関の範囲	公立学校共済組合 東海中央病院内のみ
責任者	腎臓内科部長 筑紫 さおり
問い合わせ先	公立学校共済組合 東海中央病院 住所:〒504-8401 各務原市蘇原東島町4-6-2 電話番号:058-382-3101(代) FAX 番号:058-382-0229 責任医師:腎臓内科 筑紫 さおり 担当者:臨床工学技士 玉木 高裕 e-mail:takahiro.tamaki@tokaihp.jp

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。